



## 目次

1. 台風被災地支援ワークキャンプ  
in フィリピン
2. エボラ出血熱の予防活動  
in リベリア
3. ガザの今 from パレスチナ

日本 YMCA 同盟  
〒160-0003 東京都新宿区本塩町7番  
03-5367-6640

## 台風被災地支援ワークキャンプ in フィリピン

アジア太平洋 YMCA 同盟 APAY e-News6月号

例年開催されている、アジア太平洋 YMCA 同盟 (APAY) \*<sup>1</sup>主催のインターナショナルワークキャンプ\*<sup>2</sup>は、昨年 11 月に発生した台風 30 号により甚大な被害を受けたフィリピンにて、被災地支援ワークキャンプとして行われました。5月12日~18日、同国中部に位置するパナイ島・タンバリザ地域にて、パナイ島にあるイロイロ YMCA の協力のもと行われました。バングラデシュ、カンボジア、インドネシア、シンガポール、スリランカ、モンゴル、日本、そしてフィリピンの現地の若者達も含め総勢 49 名のユース\*<sup>3</sup> (うち日本からの参加者 14 名) が各地から集まり、タンバリザの村人たちの温かい歓迎に迎えられ、共に汗を流しました。

ワークキャンプは主に 3 つの工程に分かれて進められました。

- ① 学校の小規模図書館の建設と、本棚の修復及び塗装椅子
- ② ポサーダス小学校の教室、机、いすの修復及び塗装
- ③ デイケアセンターの遊び場の修復

YMCA に連なる大きな  
「家族」であることを体感

台風の打撃を直に受けたこの学校は、3 つの校舎で構成されており、およそ 500 人の子ども達に通っていました。ワークキャンプによって修復された学校は、新しい校舎に生まれ変わり、子ども達に引き渡されました。

タンバリザは漁師の地域です。電気や携帯電話の電波もなく、孤立した地域ではありますが、人々は漁業で生計を立てていました。しかし台風により船は流され、残った船も破損していたりと壊滅的な被害を受けました。行政からの支援も十分でない中、住民は結束し支えあい、困難な状況を乗り越えなければなりませんでした。

今回のワークキャンプによって、同地域の住民は他の国々の人と触れ合う機会となり、キャンプ参加者にとっては、自分の生活とは異なった環境で過ごし、多様な人々への理解を深める経験となりました。校舎等の修復作業が無事終了した後、同地域のお祭りや子ども達との遊びのプログラムのイベントに加え、キャンプ参加者は周辺地域も訪問しました。慣れない生活環境や気候の中、懸命に修復作業を進める参加者たちの姿に触れ、地域の住民は特産の海産物を提供したり、愛情と思いやりで

満ちたホームステイの時をともに過ごしたりと、互いに思いやり一緒にワークキャンプを創りあげ、皆が YMCA に連なる大きな「家族」であることを体感していたと思います。被災した地域の復興支援というだけでなく、地域住民と参加者の両者にとって国籍や文化の違いを乗り越えて、多様な人々と繋がる架け橋をワークキャンプが担っていたと思います。

タンバリザ地域の住民の皆様を始め、イロイロ YMCA の皆様には心より感謝しています。

APAY ユースプログラム担当 Roger Peiris



\* 1 : 通称 APAY は世界の YMCA の中でもアジア太平洋地域の国々によって構成されている YMCA の組織です。アジア・太平洋地域にある 25 か国が加盟しており、それらの国々（地域）の関係性を強めるための運営を担っています。

\* 2 : APAY 主催で毎年行われている、インターナショナルワークキャンプ。参加者は各国ユースが対象で、文化交流、災害地の支援活動など毎回異なるテーマと地域で行われています。

\* 3 : YMCA の中でも様々な定義がありますが、世界の YMCA では平均して 11 歳～30 歳未満の若者を「ユース」と称しています。

※ 皆様からお預かりした 9,445,275 円の募金も、この修復作業等に使用させて頂きました。

※ 学校の修復には、神戸市社会福祉協議会よりお預かりした支援金（9,389,379 円）が用いられております。

## エボラ出血熱の予防活動 in リベリア

アフリカ YMCA 同盟 Africa Youth News 2014 年 7 月 18 日配信

今年 3 月にアフリカのギニアでエボラ出血熱が報告されて以降、8 月下旬現在、エボラ出血熱による死者は 1,000 人を超え、過去最大規模で拡大しています。シエラレオネ、リベリア、ナイジェリアについて、ギニアでも非常事態宣言がされ、感染者が出ている 4 か国すべてが非常事態宣言を発令し、今回の感染拡大の深刻さを物語っています。

エボラ出血熱は、感染した人の体液との接触によって感染し、発熱、倦怠感、頭痛、のどの痛み、次いで嘔吐、下痢、発疹などの症状が現れます。完全に感染を防ぐワクチンは無く、患者には集中的な治療が必要です。貧しい人ほど医療へのアクセスが限られている状況も、今回の拡大を招いたとされています。また、過去にもエボラ出血熱の発症はありましたが、それらは東アフリカ・または中央アフリカで起きたもので、西アフリカで発症したのは今回が初めてでした。その為、住民のみならず、政府や医療機関もエボラ出血熱に関する診断や治療に慣れていなかったことも、今回の拡大を助長されたとされています。

「Act2Live\*<sup>1</sup> (A2L、生きるために行動しよう)」では、エボラ出血熱が今回のように拡大する前から、プログラムの中に感染経路や予防方法について学ぶ時間が組まれていました。今回の感染拡大を受け、リベリア国内にある 7 つの YMCA の約 100 名のユース達が改めて研修を受け、1 万人の人達へエボラ出血熱の予防法を伝えることを目標に、さらに活発に活動を行っています。学校、市場、その他人々が集まる場所へ出向き、エボラ出血熱の認知度を高め、予防方法を伝える巡回活動を行っています。同地域では、葬式の際遺体を触って送り出すという習慣がありますが、エボラ出血熱は感染者の体液に触れることで、非感染者のわずかな傷口からでも感染するため、この習慣が感染拡大の一因ともいわれています。国際的な支援活動が行われる中、現地の習慣

ユース達による地道な活動こそが医療へのアクセスが限られている人々への有効な手立て

の中で生活し共に過ごしている現地の若者だからこそ担える役割があります。有効なワクチンが無いとされる中、一人でも多くの人にエボラ出血熱の恐ろしさと予防方法を伝えることが唯一の対処法といわれています。

Y Care International\*<sup>2</sup>の職員で、緊急支援活動の担当者 Lizz Harrison 氏は、「A2L のユースたちは、感染症のことをとてもよく勉強していて、感染のさらなる拡大を防ぐために、重要な役割を果たしている」と評価し、ユース達による地道な活動こそが医療へのアクセスが限られている人々への有効な手立てであると述べています。

一方で、医療従事者への感染も深刻な問題となっている中、職員やユース達への感染を防ぐため、医師や医療専門スタッフとの連携を密にはかり、感染予防対策も厳重に行っています。リベリア YMCA と Y Care International は、エボラ出血熱の感染拡大が収まるまで、今後も状況の監視と予防活動を引き続き行います。



### Y Care International

- \* 1 : Act2Live (A2L、生きるために行動しよう)とは、アフリカ YMCA 同盟を中心とした、リベリア、マダガスカル、セネガル、トーゴ、ザンビア、ジンバブエの YMCA の協同プログラムです。①ユースの健康／保健、衛生環境に関する意識を高める、②遠隔地や貧しい地域に住む人々へ必要な情報と医療アクセスを拡充する活動を行っています。スポーツイベントと合わせて健康や衛生環境の大切さを伝えたり、紙芝居を作ったり、ユースが参加しやすいような工夫がされています。
- \* 2 : YMCA の中でも、発展途上の国々において、職業訓練や平和構築、若者達の交流などを通して住民の生活改善を重点的にしている組織です。1844 年位イギリスロンドンで創設され、現在では約 120 か国と協力しながら活動を展開しています。

## ガザからのメッセージ from パレスチナ(ガザ YMCA)

ガザ YMCA Facebook

7月8日から軍事作戦が開始されたパレスチナ自治区ハマス軍とイスラエル軍の戦闘から、間もなく2か月が経とうとしています。8月中旬に一時停戦に合意するも、再び激しい攻撃が始まり、8月下旬現在、パレスチナ自治区ガザ地域の死者は2,100人を超えたとされています。

電力の供給は1日数時間のみという環境の中、飲み水の確保だけでなく、下水処理や医療機器の使用も限られ、約30万人が国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)が運営する学校に避難していると報道されています。近所の家々が破壊され、友人・親戚が負傷し、亡くなり、泣き叫ぶ、そんな光景をガザにいる子ども達は日々目にすることを避けられずにいます。ユニセフは、「推定37万3千人の子どもが緊急の精神的ケアを必要としていると発表」しています。(日本経済新聞 8月22日)

そうした中、ガザ YMCA では子ども達の精神的ケアを目的とした様々なプログラムや、食料配給活動を8月上旬より開始しています。下記の写真は、Gaza YCMA のオフィシャル Facebook に掲載されている写真です。ガザの現状と人々が持っている希望を伝えるために、世界へ向けて発信し続けられています。様々な制約の中、情報を掲載している為、写真の詳細な説明は省略されています。

ガザ YMCA の Facebook では、より多くの写真をご覧ください。

<https://www.facebook.com/ymcagazaofficial>













